

非熟練者の多い保守開発プロジェクト の品質問題への早期対策の調査

目次	1.研究経緯
	2.現状の問題
	3.課題設定
	4.解決策
	5.まとめ

島崎 稔史(株式会社インテック)

■ 保守開発プロジェクト

問合せ対応や
定期的なシステム改修を実施



安定した改修件数



- 若手開発者の育成の場になりやすい
- ベテランは次の開発プロジェクトへ異動する

システムの廃棄まで
繰り返す

ベテランが不在になりやすい

■ 問題点

- **保守期間の長期化**
→2009年カットオーバー
- **ベテラン開発者が不在**
→経験の浅い開発者が中心になった
- **保守開発は継続中**



保守開発に起因する不具合が増加した



顧客の信頼の低下

■ 現状の問題

保守開発に起因する不具合が増加し、
顧客の信頼が低下した

■ 原因

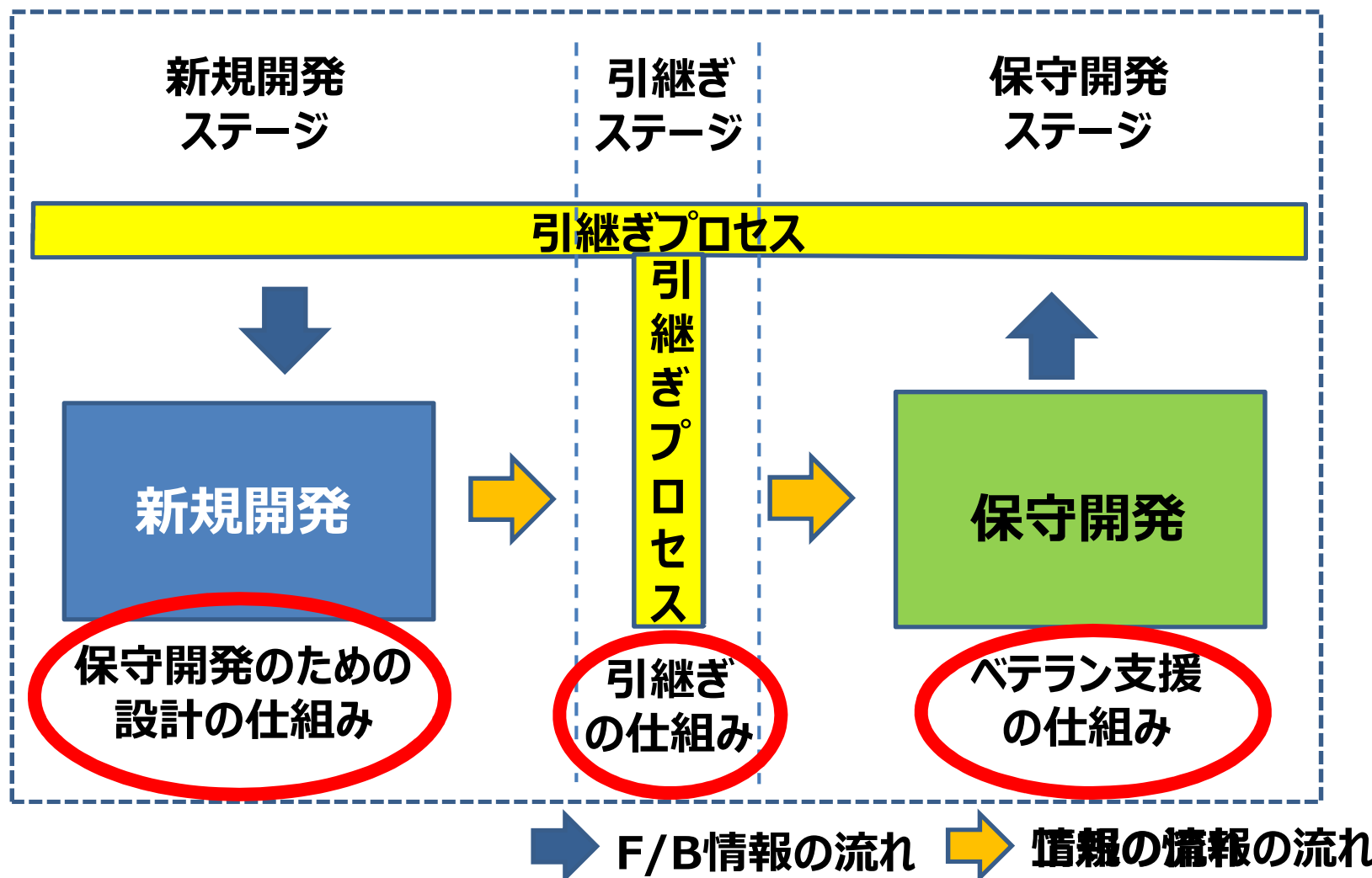
- ・ 引継ぎや教育ができていなかった／不十分だった
- ・ 設計書に記載が無い
- ・ 過去の改修に伴うプログラムが複雑化

新規開発フェーズや過去の保守開発フェーズ
における引継ぎを適切に実施する

4. 解決策(1)

4 / 6

■ T-STRAP (Three Stage Transition Process)



■ 施策と期待される効果

#	施策	期待される効果
1	新規開発ステージで、保守開発ための設計の仕組みの構築	将来のプログラム改修や調査におけるミスを防止できる
2	引継ぎステージにて、引継ぎの仕組みの構築	引継ぎ自体の実施漏れ、引継ぎ内容の漏れを防止できる
3	保守開発ステージで、ベテラン開発者の支援を得られる仕組みの構築	既存のメンバーで対処できない事象でも対応/解決が可能となる

新規開発と保守開発で
適用可能な引継ぎプロセス

■ 成果

- 3ステージ引継ぎプロセス(T-STRAP(Three Stage Transition Process))を考案した

■ 今後の課題

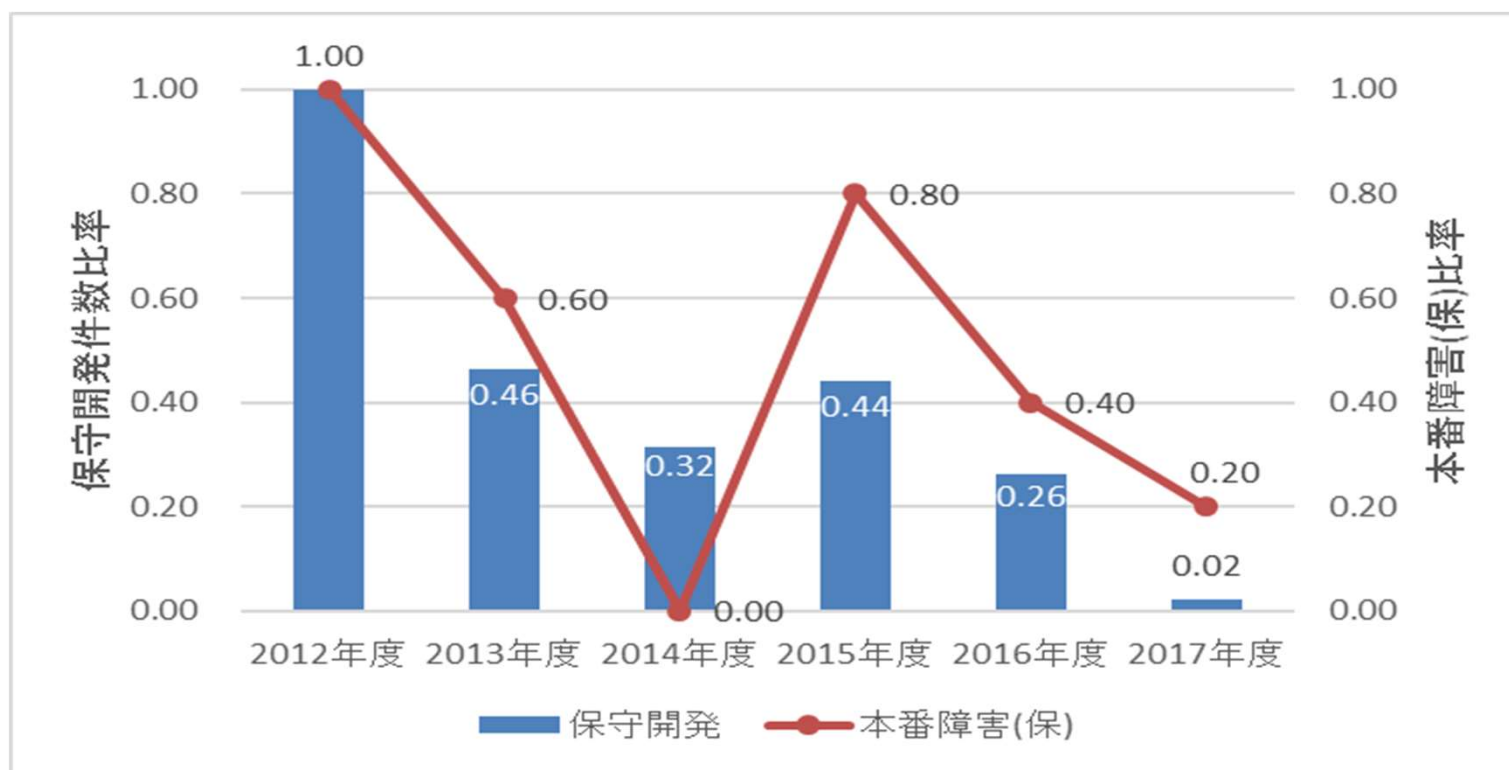
- T-STRAPの未検証
⇒ T-STRAPを実際のプロジェクトに適用し、有効性を検証する

ご清聴ありがとうございました

2017年度ソフトウェア品質管理研究会 (33SQiP)
実践コース

2. 補足資料(1)

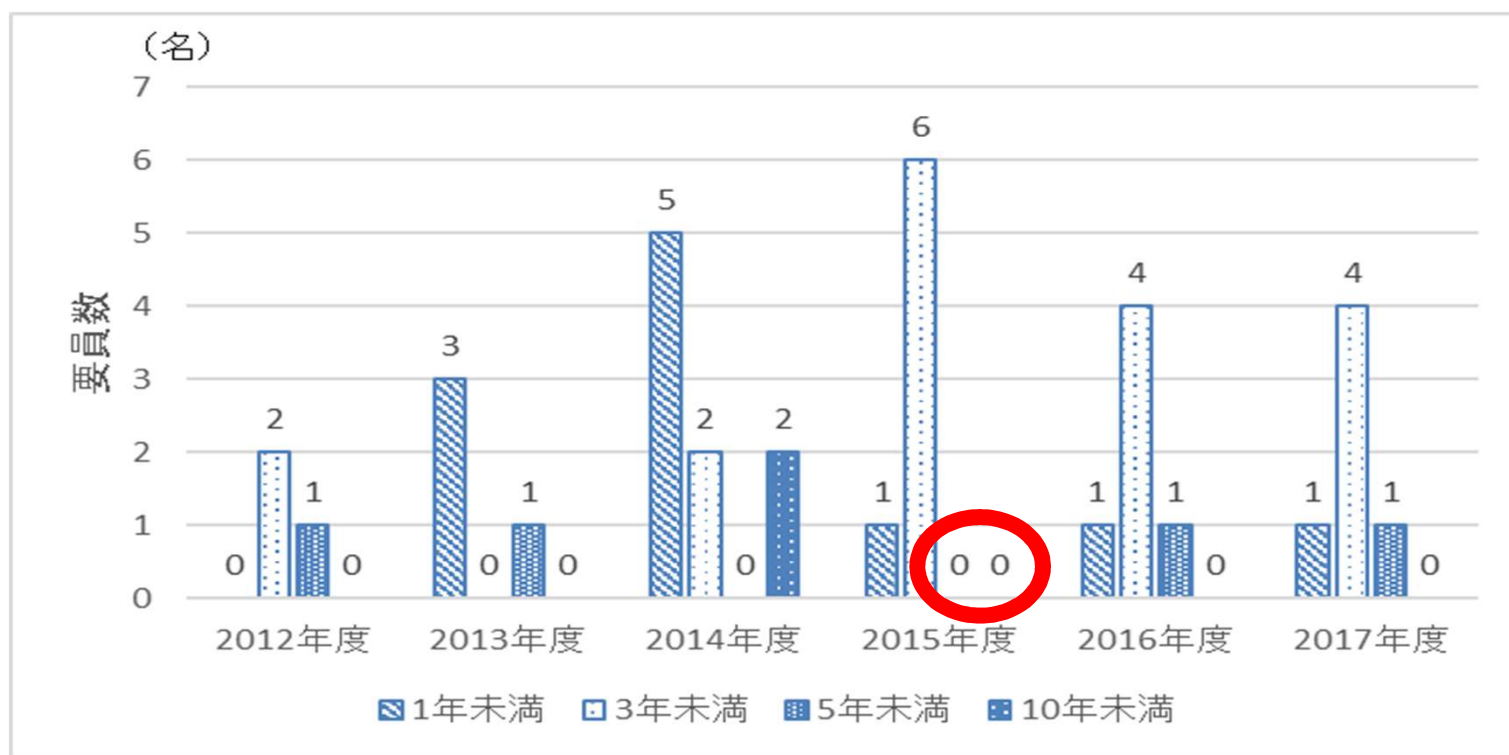
■ 保守開発に起因する本番障害の件数(比率)



一度下がるが、増加している

2. 補足資料(2)

■ 経験年数別要員数



2015年度にベテランが不在